

練馬区の  
地域活動団体などを  
毎月紹介しています!



# ねりま 地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター vol.63

## 今月の紹介団体 \*\*\*\*



**2面**  
手話サークル 練馬こぶし会  
大橋 文江さん




**3面**  
ねりまおはなしの会

## 令和4年度 練馬つながるフェスタの 開催日程が決定しました!

「練馬つながるフェスタ(つなフェス)」は、町会・自治会、NPOやボランティア団体など地域で活動している皆様の日頃の取り組みを見て・聞いて! 知って! たくさんの仲間と“つながる”ことができるイベントです! 令和4年度は、年間を通して区内各地でイベントを開催します。各イベントの概要や参加団体募集については、随時練馬区公式ホームページでお知らせします。



10月1日(土)	パークサイド石神井団地 (石神井台3-26)	2023年 1月21日(土)	光が丘区民センター
11月26日(土)	大泉図書館	2023年 3月4日(土)	ココネリホール
12月18日(日)	春日町図書館		



練馬区公式  
ホームページ

## 手話を広め、聴覚障害への理解を深めよう

### 手話サークル 練馬こぶし会



会長の大橋 文江さん

手話を通して交流を図り、聴覚障害をもつ人々への理解を深めるために啓発活動を行っている「手話サークル 練馬こぶし会」(以下、こぶし会)。昭和55(1980)年の設立で、手話初心者からベテランまで約250名の会員が活動する、都内でも最大級の手話サークルです。

活動拠点は中村橋福祉センター、生涯学習センター分館、光が丘区民センター、関町北地区区民館の4班。それぞれの拠点で毎週定例会を開催し、クイズ



中村橋福祉ケアセンターでの定例会の様子。新しい手話をクイズ形式で学びました

イズやゲーム形式で手話を学ぶ勉強会などを会員が持ち回りで企画しています。参加や見学は自由。手話に慣れていない人は役員などがサポートするので、初めての方でも安心して参加できます。

毎月350部発行している手作りの「こぶし新聞」では、それぞれの活動報告や関連団体の情報、誕生月の会員などを紹介。情報共有や会員同士のつながりを深める役割を果たしています。

また、設立当初から練馬区聴覚障害者協会(以下、練聴協)と協力しながら活動していることも特徴のひとつ。区が主催する手話講習会の運営や、防災訓練や練馬まつり、練馬つながるフェスタをはじめとするイベントへの参加など、その協働活動は多岐にわたります。

「こぶし会はきこえる人、練聴協はきこえない人で構成されています。共に活動することで交流

が生まれ、お互いの理解を深め合うことができます」と会長の大橋さん。



練馬つながるフェスタ2018の様子の様子

コロナ禍では活動拠点が閉鎖されて集まらない時もありましたが、役員を中心に「こぶし新聞」を発

行し続け、オンラインで役員会を開き、活動を継続してきました。ようやく定例会を毎週開催できるようになった今、「また皆で盛り上げていこう!」という気運が高まっているそうです。

「きこえる方が街の中で音や声に気付かない人を見かけた時は、『もしかしてきこえないかも?』と思いを巡らせ、困っていたら手を差し伸べられる社会になるといいなと思います」と大橋さんは話します。

こぶし会は、いつでもどの拠点でも見学自由とのこと。手話に関心がある方は、まずは気軽に定例会に参加してみたいかどうか。

#### ■手話サークル 練馬こぶし会

会長：大橋 文江

TEL/FAX：03-5926-9224

(事務局)

## 地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

### ■日産財団「理科教育助成」

**【助成対象】** 科学的思考能力の育成を目指す理科教育実践や、創造的・問題解決能力の育成を目指す先進的な理科教育の実践研究の取り組みを行う小・中学校

**【助成金額】** 1件あたりの上限額：50万円

**【応募期限】** 2022年9月7日

**【関連URL】** [https://www.nissan-zaidan.or.jp/entry/?utm\\_source=canpan&utm\\_campaign=2023FYscience](https://www.nissan-zaidan.or.jp/entry/?utm_source=canpan&utm_campaign=2023FYscience)

**【問い合わせ】** 公益財団法人日産財団 学校教育支援グループ  
TEL：045-620-9780

E-mail：support@nissan-zaidan.or.jp

### ■ベネッセこども基金「重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成」

**【助成対象】** 重い病気により長期入院や長期療養をしている子どもの意欲を高め、学びに取り組む手助けとなる事業。課題解決に向けた問題提起やユニークな視点を含んだ企画であり、同じ課題に取り組む人たちが参考にできるモデルとなることが期待できる活動を重視します。

**【助成金額】** 1件あたりの上限額：200万円程度

**【応募期限】** 2022年8月31日

**【関連URL】** <https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/>

**【問い合わせ】** ベネッセこども基金助成 事務局

〒277-0831 千葉県柏市根戸206-3 北柏ビル2F (株)グロップ内  
TEL：04-7137-2570 (10時～17時) ※土日祝、2022年8月11日～15日を除く E-mail：kodomokikin@grop.co.jp

# 子どもたちにおはなしを語り継いでいきたい

## ねりまおはなしの会



左から世話人の石井さん、会員の田倉さん、望月さん、速水さん

本を読むのではなく、ストーリーを覚えておはなしを語る「ねりまおはなしの会」の設立は、1979年。元図書館員の落合美知子さんが、児童図書研究会会長の小河内芳子さんを講師に招いて開催した講座をきっかけに、受講生たちが中心となって会を立ち上げました。以来40年以上、子どもから大人まで、国内外の昔話や創作のお話を語って聞かせる活動を続けています。

主な活動場所は、幼稚園や保



子どもたちは月に1回のおはなしの会を楽しみにしています(平和台児童館にて)

育園、小学校、図書館、児童館、児童クラブなど区内全域にわたり、57名の会員が分担。ほぼ毎日、どこかでおはなしが語られていることになります。

ある金曜日の放課後、平和台児童館の学童クラブに通う小学生たちがプレイルームに集まってきました。今日は月に1回の「おはなしの部屋」の日。まず、子どもたちとねりまおはなしの会のメンバーと一緒に詩「ふたりのあさごはん」を楽しみ、そのあとメンバーが1人ずつ順番におはなしを語ります。この日は『うりひめ』『ついでにペロリ』『たなばた』の3つのおはなし。

最初はおしゃべりしていた子どもたちも次第に引き込まれ、じっと聴き入っていました。

「コロナ禍以前は、ろうそくに火を灯してお話を始め、最後はお誕生月の子に火を吹き消



コロナ禍以前は、図書室でろうそくを灯し、子どもたちは体をくっつけ合っておはなしを聴いていました

してもらって終わるのが定番スタイルでした。今はそれができないので残念ですが…」と話す

のは、メンバーの1人、速水さんです。

これまでのおはなしの記録は全て手作りの冊子に集録されており、今も会員たちの貴重な指

南書になっています。

「絵本の読み聞かせと違うのは、子どもたちの目を直接見て話せること。テキストを探したり、覚えたりするのは大変ですけどね」と語るのは、メンバーの田倉さん。聴いている子どもたちと息がぴったり合い、おはなしの世界に没入する一体感を味わえることもあるそうです。

「おはなしは、もともと口伝えで語り継がれてきたもの。おはなしの力、声の力は子どもたちに伝わると信じています」と望月さん。子どもたちが大好きなおはなしを語り継ぐため、今日も活動を続けています。

■ねりまおはなしの会  
世話人：石井 裕子  
TEL：03-3932-2206

### ■イオン環境財団「イオン環境活動助成」

【助成対象】「里山 commons の再生」のテーマに基づいたいずれかの活動

- ①里山(里地・里川・里湖・里海)の保全・維持・管理
- ②植樹を含む里山の修復
- ③野生動植物・絶滅危惧種の保護
- ④自然資源の利活用
- ⑤自然環境教育
- ⑥里山に関わる伝承活動
- ⑦被災地の里山復興

【応募期限】2022年8月26日

【関連URL】<https://www.aeon.info/ef>

【問い合わせ】公益財団法人イオン環境財団 助成事業事務局  
TEL：043-212-6022 E-mail：ef@email.aeon.biz

### ■ソニー音楽財団「子ども音楽基金」

【助成対象】原則として日本国内の18歳未満の子どもに、音楽を通じた教育活動に取り組んでいる国内の団体およびその活動

【助成金額】1団体につき10万円～300万円

【応募期限】2022年8月1日

【関連URL】<https://www.smf.or.jp/kok/>

【問い合わせ】公益財団法人 ソニー音楽財団 子ども音楽基金係  
E-mail：kok@sonymusic.co.jp

### ■洲崎福祉財団

「障害児・者(含む難病)に対する自立支援活動への助成」

【助成対象】・障害児・者の自立と福祉向上を目的とした各種活動  
・障害児・者に対する自助・自立の支援事業

【助成金額】1件あたりの上限額：200万円

【応募期限】2022年8月13日

【関連URL】<https://swf.or.jp/support1/>

【問い合わせ】公益財団法人 洲崎福祉財団 事務局  
TEL：03-6870-2019 FAX：03-6870-2119

# みどりのまちづくりセンターからのお知らせ

## 空き家 セミナー & 個別相談会

参加無料

8月13日(土) 10時～13時  
受付9時30分より  
石神井公園区民交流センター 2階  
(会議室2・3)

10時～11時/特別セミナー  
11時～13時/個別相談会

※セミナーのみ、個別相談会のみ参加も可能です。  
※予約優先・各定員20名

**対象** 区内の空き家を所有、  
または所有する可能性のある方

### 【特別セミナー】

「後悔しない事前予防の空き家対策」  
講師：東京都行政書士会 空家対策特別委員会 委員長

### 【個別相談会】

あなたの空き家の悩みに個別で専門家が相談に  
応じます。(1組30分程度)  
協力団体：東京都行政書士会練馬支部  
東京都宅地建物取引業協会練馬区支部  
東京都建築士事務所協会練馬支部

【主催】練馬区・みどりのまちづくりセンター

【申込期限】8月9日(火)   
※詳細、web予約はこちらから



## 令和4年度 まちづくり活動助成 【たまご部門】の申請団体を 募集しています

【助成の対象】身近な生活空間の保全・改善・創造の  
ためのまちづくりを始めるにあたっての活動

- まちづくりを始めるにあたっての学習や調査
- まちづくりの目標づくりやアイデアの試行
- まちづくりの活動体制づくりなど

【助成回数】1企画に対して1回のみ

【助成額】助成対象経費10万円以内

【対象期間】助成交付決定日から  
令和5(2023)年3月31日まで

【申請期間】9月30日(金)まで随時

【審査】審査委員会による書類審査



今年のだまご部門の活動団体です



glamconnect +



パークハイム氷川台2丁目  
管理組合みどりの会

### 事前相談をお受けください

助成申請する団体は、事前相談が必須  
です。

※窓口のほかオンラインでもお受けできます。  
※活動企画提案書(右記HP参照)を事前  
にお送りいただくとスムーズです。

事前相談期間：9月15日(木)まで

詳細は  
こちらから!



【申込み・問い合わせ】(公財)練馬区環境まちづくり公社 みどりのまちづくりセンター TEL・FAX：03-3993-5451

## 練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、  
ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。  
どうぞお気軽にご利用ください。

### 【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること  
専門の相談員や税理士が対応しますので、  
事前に電話でのご予約をお願いします。



<https://www.facebook.com/Nerimakoyodokoryucenter/>



[https://twitter.com/kyodo\\_nerima](https://twitter.com/kyodo_nerima)



### ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中  
<http://www.nerima-kyodo.com/>



練馬区立区民協働交流センター フェイスブック

練馬区立区民協働交流センター ツイッター

練馬区立区民協働交流センター

練馬 1-17-1 ココネリ 3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)  
事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。  
ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL：03-3577-5666